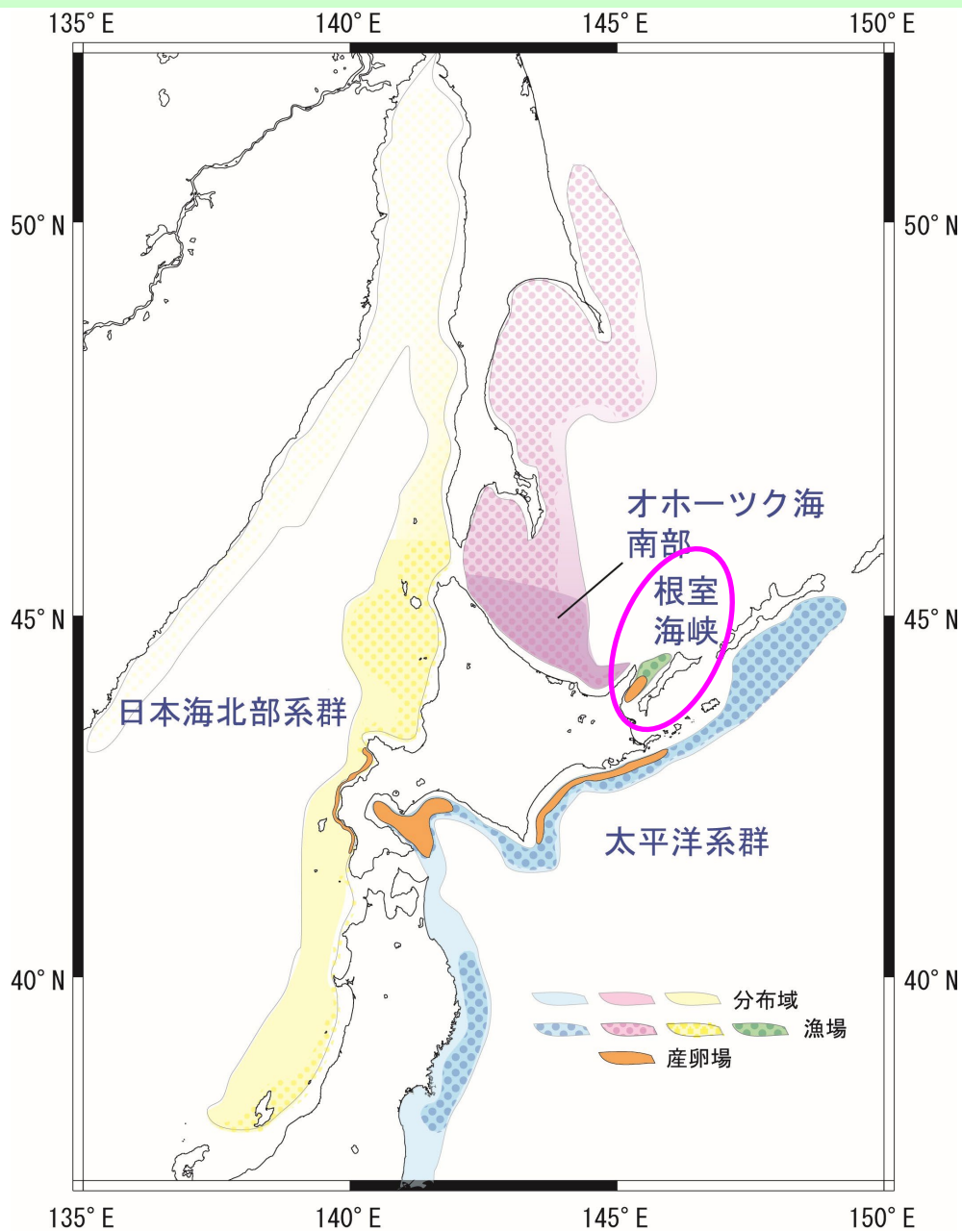




# スケトウダラ根室海峡 令和3年度資源評価結果

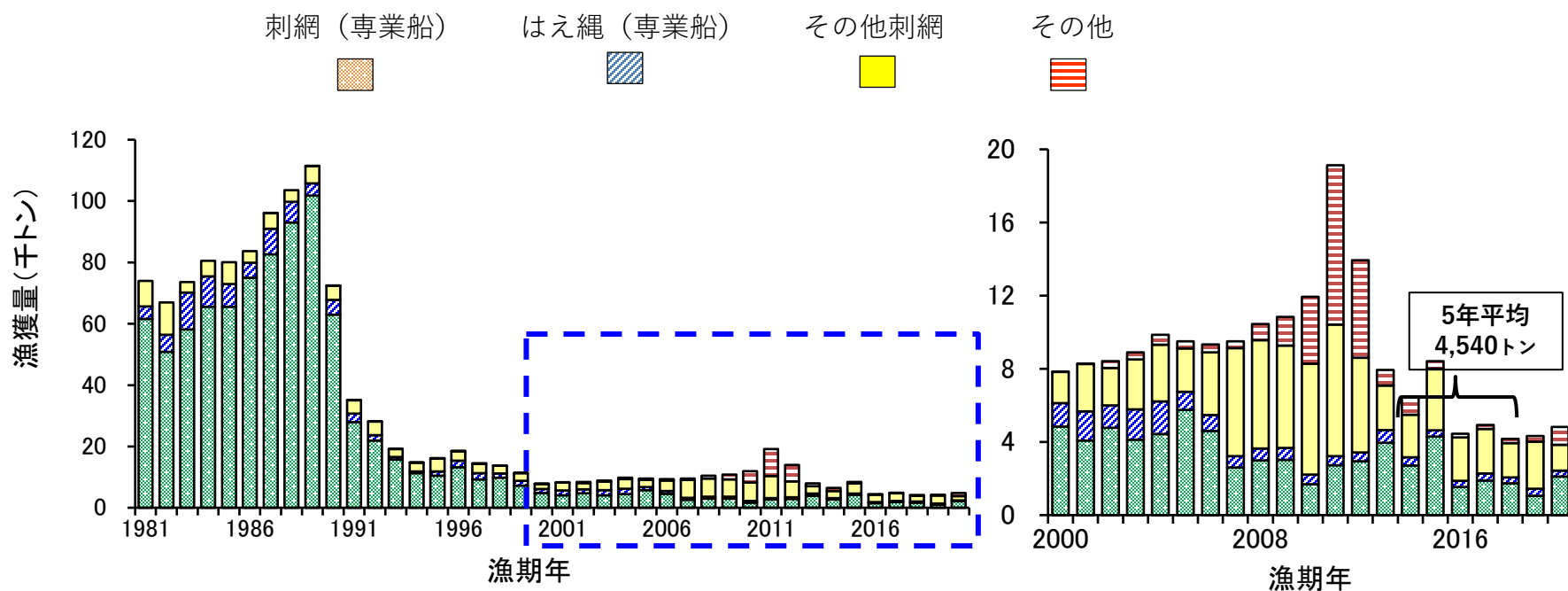
# 生物学的特性

根室海峡



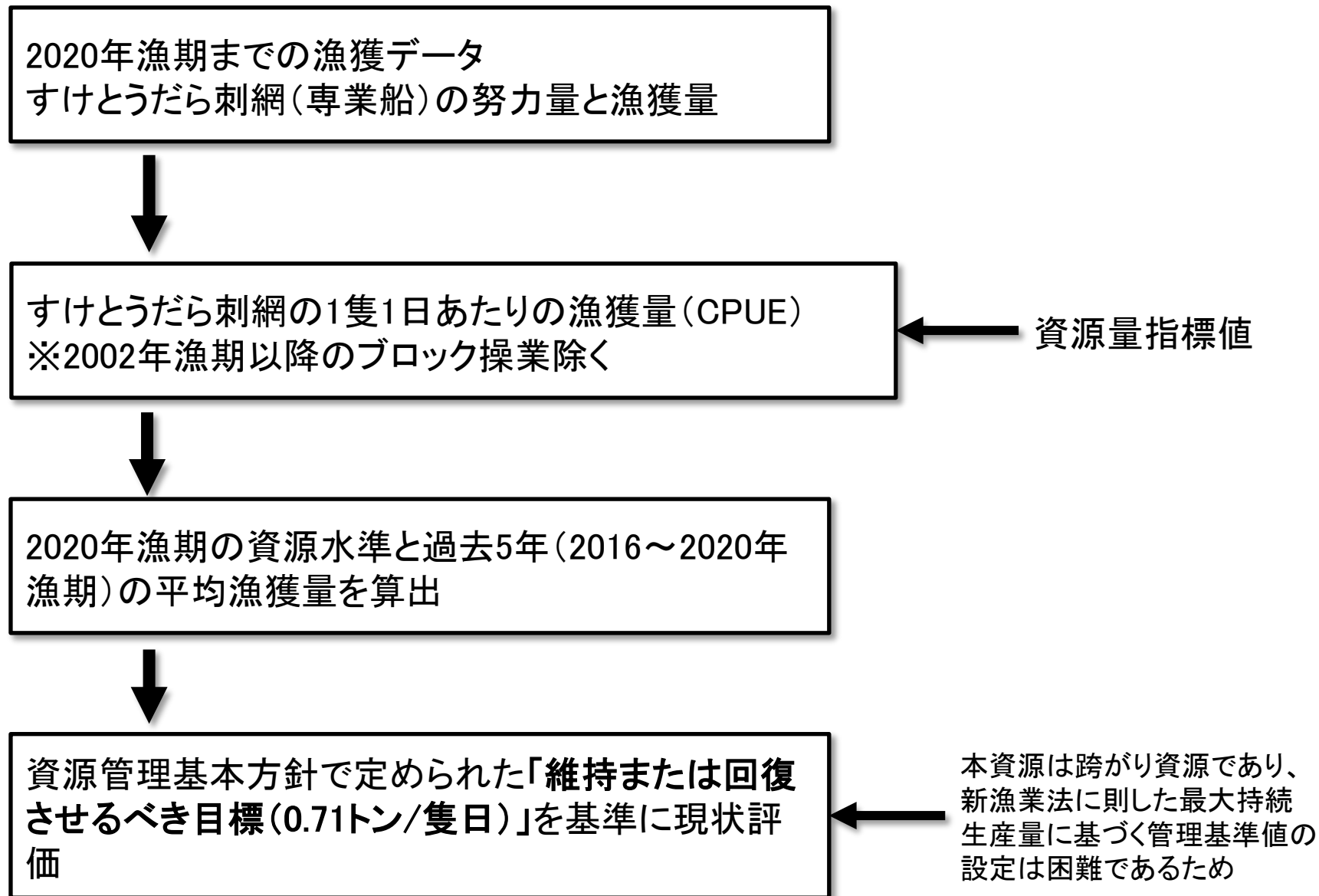
- 寿命：不明(10歳以上)
- 成熟開始年齢：  
3歳(一部)、5歳(大部分)
- 産卵期：1～4月
- 産卵のために根室海峡に冬季に来遊する群れが漁獲の主体
- 日本・ロシア両国により漁獲されている
- 若齢期や分布・回遊に関する情報は少ない

# 漁獲の動向

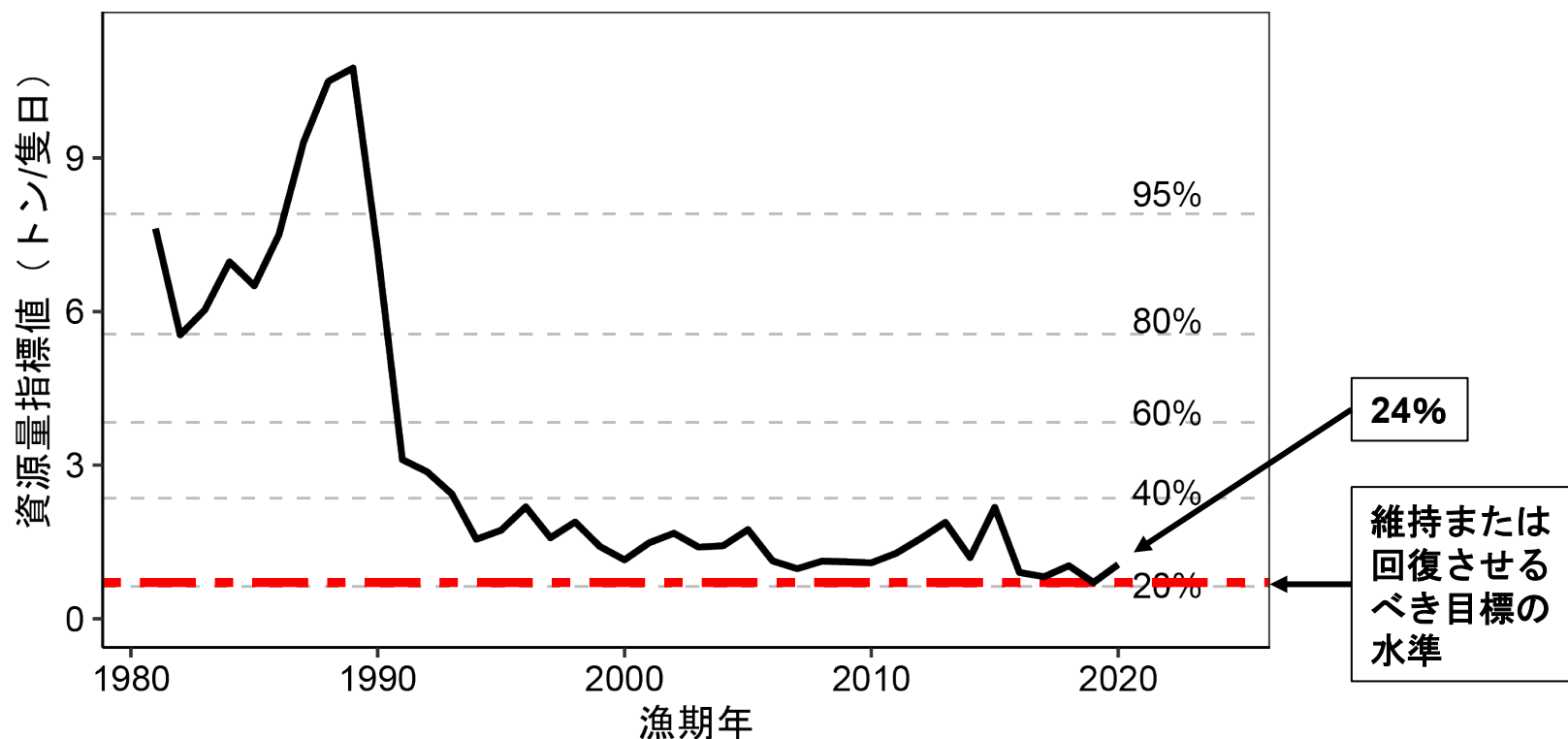


- 漁獲の大部分は刺網とはえ縄
- 総漁獲量は1990年代初頭に急減し、その後は低水準で推移
- 2011年漁期にかけて穏やかに増加したが、2012年漁期以降は再び減少
- 2020年漁期は4,810トン、過去5年平均は4,540トン

# 資源評価の流れ



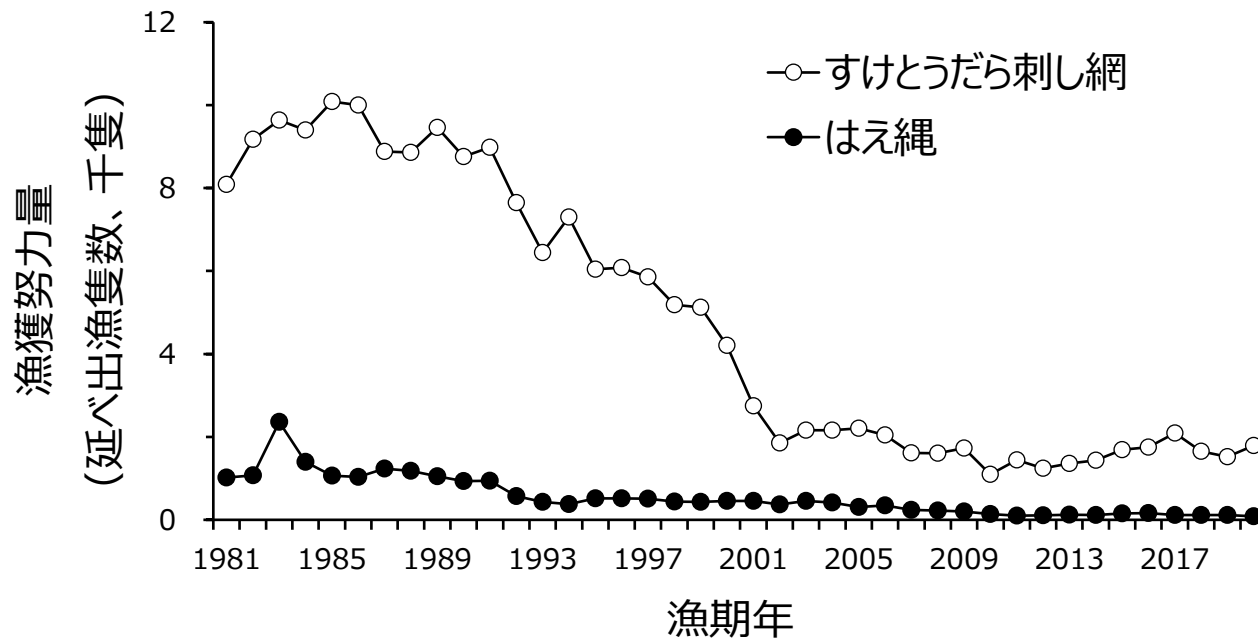
# 資源の動向（資源量指標値）



資源量指標値の推移と累積正規分布を適用したときの資源量水準  
青破線は資源管理基本方針で定められた目標水準を示す。

- 2020年漁期の資源量指標値1.06トン/隻日に累積正規分布を当てはめると24%
- 目標となる水準(0.71トン/隻日)は20%に相当し、2020年漁期は目標を上回る

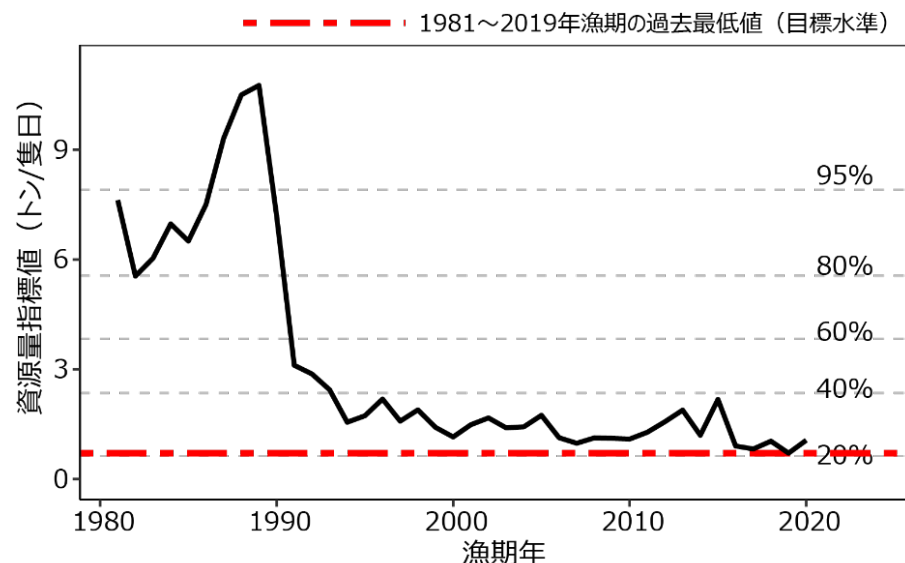
# 漁獲努力量



※すけとうだら刺し網の2002年以降はブロック操業を除く値

- 漁獲努力量は、すけとうだら刺し網漁業では2002年まで大きく減少してその後はほぼ横ばい、はえ縄漁業も1983年を最高にその後減少した。隣接海域におけるロシア漁船の漁獲量・漁獲努力量は不明である。

# 漁獲シナリオ



資源量指標値と目標とされる水準

本資源の漁獲シナリオでは、資源量指標値の1981～2019年の過去最低値を、維持または回復させるべき目標と定められている。2020年の資源量指標値はこの目標水準を上回った

- 本資源は隣接する水域に跨って分布し、日本漁船の操業水域における情報のみでは資源全体の動向を捉えることが出来ないことから、最大持続生産量に関する目標管理基準値や限界管理基準値を定めることは困難である
- 本資源の漁獲シナリオでは、我が国の漁船による漁獲の状況等を踏まえて、我が国漁船の操業水域に分布する資源の最適利用が図られるよう漁獲を管理するとされている